

# 大学評価・学位授与機構 国際連携企画室

## 平成 26 年度事業実施報告

平成 27 年 3 月 31 日  
国 際 連 携 企 画 室

### I. はじめに

大学評価・学位授与機構（以下「機構」）は、以下の第3期中期目標（平成26～30年度）を踏まえた国際連携事業に関する主要方針に基づき、近年の高等教育を取り巻く国際的な状況を踏まえながら、海外の高等教育の質保証に関する情報を収集し、調査研究を行い、その成果を国内外に発信していくとともに、海外の質保証機関等との積極的な情報交換や密接な連携による国際的な質保証活動を行っている。

＜国際連携事業に関する主要方針＞

- ・ 国内外の質保証機関との連携によるわが国の評価制度全体の改善と高等教育の国際的な信頼性を高めるための活動を行う
- ・ 大学等との連携による大学等における質保証への支援

機構に設置された国際連携企画室は、教員及び事務職員が協同し、高等教育の国際的な質保証の確保、及び諸外国の評価機関等との国際連携を推進するため、平成24年度よりアクションプランを毎年策定し、国際連携活動を展開している。平成26年度においては、以下の4つのテーマを設定し、第3期中期目標期間の開始年度として展開する活動計画をまとめ、テーマごとに各種活動を実施した。実施にあたっては、毎回の企画室会議で必要な協議・確認を行い、実施結果や収集した関係情報・資料は、企画室メンバー間で共有を図り、機構内外に発信した。

#### 平成 26 年度国際連携企画室アクションプランの柱

- (1) [海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）](#)（実施報告 pp.2-6）
- (2) [日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）](#)（実施報告 pp.7-8）
- (3) [共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施](#)  
（実施報告 p.9）
- (4) [国際連携にかかる戦略的・重点的調査研究](#)（実施報告 p.10）

### II. 国際連携企画室 平成 26 年度会議開催実績

|      | 開催日         | 内 容                                                   |
|------|-------------|-------------------------------------------------------|
| 第1回  | 平成26年 4月17日 | 平成26年度国際連携企画室会議メンバーについて ほか                            |
| 第2回  | 平成26年 5月21日 | 台湾・HEEACT の来訪及び講演会について ほか                             |
| 第3回  | 平成26年 6月19日 | 平成27年度概算要求について ほか                                     |
| 第4回  | 平成26年 7月22日 | UK-NARIC 研修および QAA 懇談について ほか                          |
| 第5回  | 平成26年 9月 9日 | 平成27年度大学質保証フォーラムについて ほか                               |
| 第6回  | 平成26年10月22日 | APQN・APQR(Asia Pacific Quality Register)への意見照会について ほか |
| 第7回  | 平成26年11月19日 | INQAAHE 理事選への立候補者募集について ほか                            |
| 第8回  | 平成26年12月15日 | APQN2015 総会の概要・発表者募集について ほか                           |
| 第9回  | 平成27年 1月21日 | 覚書締結機関との連携協力の企画について（豪州・TEQSA、英国・QAA） ほか               |
| 第10回 | 平成27年 2月17日 | 次年度アクションプラン（案）について ほか                                 |
| 第11回 | 平成27年 3月19日 | 海外質保証機関等との覚書の新規締結および更新について ほか                         |

### Ⅲ. 各テーマにおける実施内容

#### (1) 海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）

##### アクションプラン

平成 26 年度は、大学等における質保証活動への支援、および我が国の評価機関等における国際情勢を踏まえた高等教育の質保証活動に資するため、海外の高等教育や質保証に係る制度情報や改革等の動向について情報を収集、整理し、高等教育関係者へ提供する。

##### 事業実施総括

[活動詳細 >> p. 4](#)

##### (ア) 海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供

海外の高等教育や質保証動向について、「別表」に掲げる調査項目を主眼に置きながら情報収集し、ウェブサイトを中心に得られた情報を記事等にして提供した。（大学の内部質保証支援および国際的な共同教育プログラムの質保証の観点を意識）

「別表」平成 26 年度における情報収集項目（国・地域別） ◎：重要度の高い事項 ○：パリティ次第で取り組む事項

| 国・地域名    | テーマ                                                                                                           |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中国       | ◎「高等教育の質の全面的向上に関するガイドライン」の実施状況（機関評価、質報告制度等）<br>◎中外共同運営教育評価の動向 ◎CBQAN の活動動向                                    |
| 韓国       | ◎大学機関別評価認証の動向（評価結果、優秀事例）<br>◎大学の国際化評価（留学生受け入れ体制評価）について（IEQAS）<br>ONIC 設立に向けた活動動向                              |
| ASEAN 諸国 | ◎ASEAN 域内における質保証枠組み・資格枠組み構築の動向<br>○AIMS を通じた大学間交流および iAward の動向<br>○質保証人材育成活動（評価者研修プログラム等）の動向                 |
| マレーシア    | ◎MQA の行う質保証にかかる基準・プロセス                                                                                        |
| インドネシア   | ◎ASEM の動向（※ASEM 事務局＝インドネシア）<br>○分野別質保証機関設置の動向                                                                 |
| 台湾       | ◎新評価基準に基づくプログラム評価の概要<br>○質保証機関、高等教育機関および教育部の「国際通用性の向上」に向けた活動内容について                                            |
| 香港       | ◎香港における質保証、資格枠組み                                                                                              |
| 欧州       | ○欧州ボローニャプロセスの政策議論<br>◎ECA 等による欧州の大学が提供する共同教育プログラムへの質保証の取組み<br>◎EQAR、Qcrossroads ○ASEM 動向 ◎QF 関連情報             |
| 英国       | ◎クオリティ・コード（特に B10:共同教育の管理）<br>◎リスク・ベースの新評価にかかる動向                                                              |
| オランダ     | ○NVAO<br>・国際化評価(ECA 称号昇格への検討状況) ・第 2 サイクル評価実施状況<br>・欧州横断的質保証の取組<br>○Nuffic<br>・NIC 機能 ・大学国際化支援事業等(MINT の分析など) |
| フランス     | ○AERES 改組に伴う新たな評価および組織体制                                                                                      |
| ドイツ      | ○高等教育質保証全般および DQR(201308 発表)                                                                                  |
| 米国       | ○CIQG<br>・国際的な質保証への取組                                                                                         |
| 豪州       | ○TEQSA<br>・アクレディテーション基準および実施状況                                                                                |

インフォメーションパッケージに関して、諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要のドイツ（初版）・英国（第 2 版）・オランダ（初版の追補資料）を刊行するとともに、アジア地域の高等教育分野の質保証システムに関するブリーフィング資料としてマレーシア・インドネシア・台湾を作成し、ウェブに掲載した。

## (イ) 国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動

国際連携ウェブサイトについては、閲覧者にとっての見易さ・利便性を向上させるため、同ウェブサイトのデザインおよび構造の全面的な見直し作業を実施した。同ウェブサイトのコンテンツ構成についても改訂を行い、「共同教育プログラムのための質保証」および「キャンパス・アジア」モニタリングについて、独立した新たなウェブサイトを立ち上げた。

<国際連携ウェブサイト 各年度月平均アクセス件数>

平成 24 年度：5,907 件、平成 25 年度：9,649 件、平成 26 年度：15,038 件

<共同教育プログラムの質保証 ウェブページ 月平均アクセス件数> 平成 26 年度：338 件（平成 27 年 1～3 月）

ウェブサイトや概要資料の情報発信媒体の認知度を高めるため、主な広報活動として各種会議等でのちらし配布による広報のほか、平成 26 年度より新たに、教育学術新聞への海外の質保証動向記事の定期掲載を開始し、平成 26 年度中に 4 回掲載された。

## (ウ) フォーラムやセミナー開催による情報提供

今回のフォーラムより、大学における教育研究活動の質の保証の取組みをより一層推進する目的で、以前の催事名称の「大学評価フォーラム」から「大学質保証フォーラム」と改称し、「大学の多元的道しるべ～ランキング指標を問う～」というタイトルで開催した。

また、海外の質保証に関連する取組みについて、国内の関係者との意見交換の場を設けて理解を深め、我が国の質保証活動の改善につながるよう、海外関係者を招き、台湾における高等教育の質保証制度についての講演会、およびオランダにおける近年のアクレディテーション制度の議論と状況についての研究会を実施した。



「共同教育プログラムのための  
質保証」ブログ  
(平成 26 年 12 月完成)



キャンパス・アジア モニタリング ウェブサイト（日本語／英語）  
(平成 26 年 11 月／同年 7 月完成)



## ウェブサイトを通じた質保証動向記事等の発信

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

海外の高等教育や質保証の動向に関して収集した情報については、国際連携ウェブサイトにて、海外の動向記事として適時掲載し、国内向けの情報発信基盤の強化を図った。平成 26 年度の動向記事掲載件数は 126 件であった。（掲載件数の内訳は下図参照。）



国際的な共同教育プログラムの質保証にかかる情報については、「共同教育プログラムのための質保証」ウェブサイトにおいて随時発信を行っている。平成 26 年度は、新規に 6 件の情報発信を実施した。

>> [共同教育プログラムのための質保証サイト](#)

## インフォメーション・パッケージの作成・発信 – 各国の質保証制度にかかる基本情報 –

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

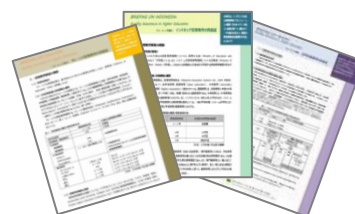
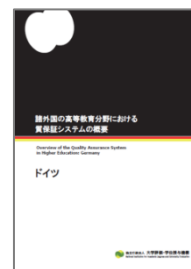
インフォメーション・パッケージにおける新たな刊行物として、平成 26 年 12 月に、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要 ドイツ」（右：同刊行物の表紙）を刊行した。

また、英国の諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要について、第 2 版を平成 27 年 2 月に刊行するとともに、オランダの諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要追補資料を平成 26 年 11 月に作成し、ウェブサイトに掲載した。

>> [オランダ追補資料掲載ページ](#)

さらに、アジア地域における高等教育の質保証に関して、ブリーフィング資料を新たに作成し、ウェブサイトにて公開した。これまで、マレーシア（平成 26 年 4 月）、インドネシア（同年 6 月）、台湾（同年 11 月）のブリーフィング資料（右：同刊行物の表紙）を掲載した。

>> [英国第 2 版およびブリーフィング資料掲載ページ](#)



このほか、インフォメーション・パッケージや国際連携ウェブサイトの取組みを国内外の関係者に広く発信するため、広報用チラシを随時更新し、機構が主催・企画実施したフォーラムや高等教育関係者の集まる会議で配布した。

なお、アジア地域の高等教育質保証システムに関するブリーフィング資料の香港版の新規作成に向けた作業を進めるとともに、「諸外国の高等教育における質保証システムの概要：豪州」の第 2 版刊行に向けた改訂作業を進めた。（これらはいずれも平成 27 年度中に完成見込み）

## 国際連携ウェブサイトの充実にむけた取り組み

### 【1-イ）国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動】

#### ●ウェブサイトのデザイン・ページ改訂

国際連携ウェブサイトについては、トップページのシンプル化や閲覧しやすい改善のため、同ウェブサイトの現状課題を洗い出し、大幅なデザイン改訂に着手、デザイン案を策定した（右：トップページイメージ図）。

また、同サイト内の「キャンパス・アジア」モニタリングのウェブページについて、専用ページを和英の両言語で作成・公開し、国際連携ウェブサイトからアクセスできるようにした。

>> [モニタリング和文ページ](#) | [モニタリング英文ページ](#)

同様に、同サイト内の国際的な共同教育プログラムのための質保証にかかる情報発信にかかるウェブページを、WordPress.com を活用し、専用ページを作成・公開した。

>> [共同教育プログラムのための質保証ページ](#)



#### ●教育学術新聞への質保証動向の定期掲載

国際連携ウェブサイトに発信している海外の質保証動向記事のうち、主なものを抽出し、教育学術新聞に定期掲載を開始した。

## 大学質保証フォーラムおよび海外関係者による講演会・研究会

### 【1-ウ）フォーラムやセミナー開催による情報提供】

#### ●大学質保証フォーラム

大学評価・学位授与機構は、平成 26 年 8 月 1 日に平成 26 年度大学質保証フォーラム「大学の多元的道しるべ～ランキング指標を問う～ Toward a Multidimensional Approach: How we use ranking indicators?」を東京で開催した。基調講演では、「多元的マッピングとランキング～高等教育機関の透明性を高めるツール～」と題して、オランダのトウェンテ大学高等教育政策研究所の Don F. Westerheijden 上級研究員（右上写真）から、従来のランキングへの批評と EU で先駆的に実施されている U-Multirank の活用方法の紹介に関する講演が行われた。

講演後に行われたパネルディスカッション（右下写真）は、基調講演者に 5 名のパネリストを交えて進行的。前半は、5 名のパネリストから政策・戦略の方向性とそこで用いられている各種データや指標の事例について発表があった。後半のディスカッションでは、大学や関係者が大学の多様な側面や特徴を把握するために、大学はどのようにデータや指標を活用すべきなのか、またそのような活用を促すためには、どのような環境、インフラ整備が必要であるのかという視点で活発な議論が交わされた。

>> [平成 26 年度大学質保証フォーラムページ](#)



※ フォーラムの満足度について、「とても良かった・まあまあ良かった」の回答は 85.6%であった（回答数：188 件）。（※本設問は 5 段階で調査）

## ●大学質保証フォーラム機構内研究会

平成 26 年 7 月 31 日に大学質保証フォーラムの基調講演者である Don F. Westerheijden 氏を招き、オランダの近年のアクレディテーション制度の変遷に関する研究会を開催した。当 Westerheijden 氏の講演では、はじめに、オランダ・フランダースアクレディテーション機構（NVAO）と質評価機関の行った第 1 サイクルの評価（アクレディテーション）の説明の後、2011 年度から始まった第 2 サイクルで生じた制度的な変更点の紹介があった。また、翌日（8 月 1 日）の大学質保証フォーラムのテーマに関連して、複数の視点から大学の特色や実績を示すための指標と分析手法を擁している U-Map と U-Multirank についての概説と実演も行われた。

## ●台湾 HEEACT 執行長による講演会

平成 26 年 5 月 29 日に、台湾 HEEACT との覚書更新に係る調印式に合わせて、王 如哲（Ru-Jer Wang）執行長を招き、国内の高等教育関係者を対象として講演会を実施した。本講演会においては、台湾の昨今の高等教育事情や、HEEACT の実施する大学評価の概況、台湾高等教育の国際通用性に向けた取り組みや今後の展望についての紹介がなされた。

## （２）日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）

### アクションプラン

平成 26 年度は、我が国の高等教育の質保証に係る国際的な信頼性を高めるうえで、機構は内外の質保証機関や評価機関と様々な連携協力をすすめることとしている。これらの活動に伴い、機構の行う事業のみならず、日本全体としての高等教育の質保証システム等の情報について、英文により精査し、海外の質保証関係者に対する情報発信を強化する。

### 事業実施総括

[活動詳細 >> pp. 7-8](#)

#### （ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要の日本（第 2 版）を平成 26 年 7 月に刊行したほか、第 2 サイクルの大学機関別認証評価にかかる実施大綱および大学評価基準の英語版を刊行した。また、第 1 サイクルの大学機関別認証評価の検証結果をまとめた「進化する大学機関別認証評価 – 第 1 サイクルの検証と第 2 サイクルにおける改善 –」の英語版として、‘Evolving Institutional Certified Evaluation and Accreditation’をウェブサイトに掲載した。このほか、「高等教育に関する質保証関係用語集:Glossary」第 4 版発行に向けた改訂作業を進めた。

さらに、海外で開催された国際会議等において、当機構から発表を行い、日本における高等教育質保証の取組み等について情報発信を行った。

[活動詳細 >> p. 8](#)

#### （イ）機構英文ウェブサイトの改善・充実

機構の機関別認証評価について、日英併記で種別ソートや検索可能な評価結果一覧ページをウェブサイトで公開した。

### 日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

#### 【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

日本の高等教育や質保証に関する情報発信については、諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要の日本（第 2 版）を平成 26 年 7 月に刊行した。

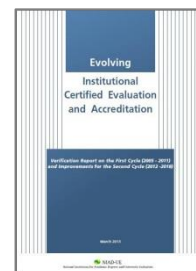
また、第 2 サイクルの大学機関別認証評価にかかる実施大綱および大学評価基準の英語版を刊行した。

>> [日本の高等教育および質保証に関する刊行物 掲載ページ](#)

さらに、第 1 サイクルの大学機関別認証評価の検証結果をまとめた「進化する大学機関別認証評価 – 第 1 サイクルの検証と第 2 サイクルにおける改善 –」の英語版として、‘Evolving Institutional Certified Evaluation and Accreditation’（右：同刊行物の表紙）をウェブサイトにて掲載した。

>> [‘Evolving Institutional Certified Evaluation and Accreditation’ 掲載ページ](#)

このほか、「高等教育に関する質保証関係用語集:Glossary」第 4 版発行に向けた改訂作業を進めた。（平成 27 年度中に完成見込み）



## 国際会議・セミナーでの機構からの発表実績

### 【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

#### ＜H26 年度機構からの発表実績と発表タイトル＞

- ・H26 年 9 月 23 日      HEEC 設立 10 周年にかかる記念行事（於：中国・北京）  
     ‘NIAD-UE and the Role of QA Agencies in International Collaboration -Efforts for Multilateral Partnerships-’ 【発表者：野上機構長】
- ・H27 年 3 月 31 日-4 月 3 日    INQAAHE 隔年次総会（於：米国・シカゴ）  
     ‘A Study on International Collaborative Programs between Japan and Asian Countries: Importance of Developing a Checklist’ 【発表者：金特任准教授】



HEEC 設立 10 周年にかかる記念行事  
（野上機構長発表の様子）



INQAAHE 隔年次総会  
（金特任准教授発表の様子）

## 機構英文ウェブサイトの改善・充実

### 【2-イ）機構英文ウェブサイトの改善・充実】

機構の機関別認証評価について、日英併記による評価結果一覧ページをウェブサイトで公開した。一覧では、機構が平成 17 年度から平成 25 年度までにかけて実施した大学、短期大学（※平成 23 年度をもって終了）、高等専門学校すべての機関別認証評価について、対象校ごとの評価結果および報告書（認証評価実施結果報告、自己評価書等）をリスト形式で掲載している。

本一覧は、検索やソート機能を備え、機関名称や受審年度での検索を可能とした。また、海外からの閲覧も可能となるよう、日本語・英語の 2 か国語併記とした。

>> [評価結果一覧ページ](#)

| 評価事業                                                                                         |                          |                    |            |                                                  |                            |                                      |      |                                          |                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------|------------|--------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|------|------------------------------------------|--------------------------|
| Results of Certified Evaluation and Accreditation by NIAD-UE<br>大学評価・学位授与機構による機関別認証評価の評価結果一覧 |                          |                    |            |                                                  |                            |                                      |      |                                          |                          |
| Search 大学名検索<br>(Type an institution's name)                                                 |                          |                    |            |                                                  |                            |                                      |      |                                          |                          |
| Institution Name<br>機関名                                                                      | Institution Type<br>設置区分 | CERF<br>認定評価<br>機関 | Year<br>年度 | Result<br>評価結果<br>(当該機関が定める<br>大学評価基準に<br>おける結果) | Result<br>認証評価結果           |                                      |      | Self-<br>Assessment<br>Report<br>(自己評価書) | Final<br>Results<br>最終結果 |
|                                                                                              |                          |                    |            |                                                  | Summary<br>(English)<br>概要 | Final Report<br>(Japanese)<br>実施結果報告 | Link |                                          |                          |
| Aichi University of Education<br>愛知大学                                                        | H                        | U                  | 2018       | Satisfied<br>満足している                              |                            | Link                                 | Link | 2018                                     |                          |
| Shizuoka University<br>静岡大学                                                                  | H                        | U                  | 2018       | Satisfied<br>満足している                              |                            | Link                                 | Link | 2018                                     |                          |
| Chubu University<br>中部大学                                                                     | H                        | U                  | 2018       | Satisfied<br>満足している                              |                            | Link                                 | Link | 2018                                     |                          |
| Chubu University<br>中部大学                                                                     | H                        | U                  | 2018       | Satisfied<br>満足している                              |                            | Link                                 | Link | 2018                                     |                          |

評価結果一覧ページ

### （３）共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施

#### アクションプラン

平成 26 年度は、主にアジア地域の覚書締結機関を中心に、海外の質保証機関と連携を強め、共同のプロジェクト等を通じて相互理解・信頼関係を深める。これらのプロジェクトを通じて、わが国の評価制度全体の改善や質保証を伴った大学間交流の支援に貢献する。

また、わが国の高等教育への国際的な信頼性を高めるため、国際的な質保証活動に積極的に参画し、関係機関と協力して活動を行う。

#### 事業実施総括

##### （ア）日中韓連携 ―プロジェクトの実施―

平成 25 年度に当機構が行った「キャンパス・アジア」日中韓トライアングル交流事業 10 プログラムに対する日本側 1 次モニタリングの成果を国内外の関係者に発信していくための取組みとして、[総括報告書](#)（日・英）のウェブ発信、「キャンパス・アジア」モニタリングウェブサイト（日・英）の開設、「NIAD-UE シンポジウム 国際共同教育プログラムの質保証：日中韓の連携による教育の質モニタリングを通して見えてきたことは」（平成 26 年 11 月 27 日：一橋講堂（学術総合センター 2 階））の開催、各プログラムの優れた取組みを集めた「[優良事例集](#)」の作成などを行った。

また、平成 27 年度に実施する 2 次モニタリングに向けて、日中韓の質保証機関間で会合を行い、各国の 1 次モニタリング結果や手法等を共有・比較分析し、方向性について意見交換を行った。今後は、2 次モニタリングの実施方法等（共同モニタリングの実現可能性）について、引き続き、協議するとともに、質保証機関向け共同ガイドラインの検討を進めていくこととしている。

>> [キャンパス・アジアにおける質保証の取組み](#)

>> [モニタリング和文ページ](#) | [モニタリング英文ページ](#)

##### （イ）欧米やアジア太平洋との連携

海外の覚書締結機関を中心として、これまで築き上げてきた関係を基盤に、共同プロジェクトや人的交流、連携した取組みを展開した。[マレーシアのMQA](#)とは、評価（質保証）プロセス等についての比較調査を行う合同専門委員会において、[オンラインによる第 1 回会合](#)（平成 26 年 6 月）を行い、[MQA 職員による機構訪問調査へのオブザーブ参加](#)（同年 10 月）を実施した。また、平成 25 年度に発足した [APT（ASEAN Plus Three）](#) 質保証専門家会合では、第 2 回会合（平成 26 年 10 月、インドネシア・バリ）を開催し、引き続き [ASEAN および プラス 3（日中韓）の質保証機関](#)との交流機会の拡大を図った。さらに、英国 QAA と定期的な情報交換を促進する目的で、[第 1 回ビデオ会議](#)（平成 27 年 3 月）を実施した。

以上のほかにも、覚書締結機関や海外の交流機関とは、APQN や INQAAHE 等の国際的ネットワークの会議をはじめ、高等教育の質保証に関する国際会議で、情報交換や連携協力にかかる協議を行い、人的ネットワークの拡大とともに、すでにある連携体制の強化を図った。

また、海外の教育担当省や高等教育関係機関等から機構に来訪があり、懇談や機構の事業紹介を行った。

## （４）国際連携にかかる戦略的・重点的調査研究

### アクションプラン

平成 26 年度は、引き続きわが国の大学等における学位および質保証制度にかかる国際通用性を確保していくための戦略的・重点的調査として、1) 東アジアにおける国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査および 2) 学生移動（モビリティ）に伴い国内外の高等教育機関に必要とされる情報提供事業の在り方に関する調査を行う。

### 各調査の趣旨および事業実施総括

#### （ア）東アジアにおける国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査（東アジア調査）

##### ●調査の趣旨

機構がこれまで進めてきた「キャンパス・アジア」のモニタリングの基準や実施方法は、日中韓三国にとどまらず、広く東アジアへの展開を見据えた設計としている。したがって、本調査では、モニタリングの取組みを発展的に活用し、東アジアの大学や質保証機関が、国境を越えた共同教育プログラムの質を確認・保証する際に活用し得る、実践的な手引き等の手法の開発を目指す。

##### ●平成 26 年度（3 か年計画の 2 年目）の実施総括

本調査の目指すアウトプットをまとめる際の有用な情報を収集するため、国内大学における国際連携・共同を伴う教育プログラムへのヒアリング調査（6 件）を実施するとともに、共同プログラムのカウンターパートとなる海外大学の訪問調査（3 か国・10 機関）を行った。

あわせて、これまでの調査内容を踏まえて、共同教育プログラムの実施に際して質保証に関連する事項を中心とした手引書（案）を作成し、聞き取り調査実施プログラム関係者および外部有識者等を招いた国際的な共同教育プログラムの質保証に関する研究会（H26.2）を開催した。

#### （イ）学生移動（モビリティ）に伴い国内外の高等教育機関に必要とされる情報提供事業の在り方に関する調査（モビリティ調査）

##### ●調査の趣旨

国内外の学生移動に伴い必要とされる情報提供やその他支援事業の在り方について調査を行い、日本におけるナショナル・インフォメーション・センター機能の位置付けや具備すべき業務を明確にする。そのうえで、国内外の高等教育機関および関係機関にとって理想的なセンターの在り方について調査結果をまとめる。

##### ●平成 26 年度（3 か年計画の 2 年目）の実施総括

学生移動に伴い必要とされる情報提供や支援の在り方に関する調査については、国内大学の教職員を対象としたオンラインアンケートを実施し、のべ 1,846 件の回答の集計結果をウェブ上で公表した。アンケートでは、外国での学習履歴の審査や海外で修得した単位の認定の審査手続き上必要な情報を尋ねた。学習履歴審査に関しては、詳細分析のために国内 8 機関の担当者にヒアリングを行った。海外調査としては、オンライン調査と訪問調査を実施した。オンライン調査では、ENIC/NARIC 計 57 センターを対象に、日本の資格を審査する際に必要としている情報を尋ね、24 機関から回答が寄せられた。訪問調査では、中国、香港、オーストラリアの関係機関における資格認証・情報発信業務を調査した。平成 26 年度末までに、これらの調査結果を中間報告としてまとめた。

本文に出現する頭文字語の正式名称（アルファベット順）

**A E R E S （アエレス）**

Agence d'évaluation de la recherche et de l'enseignement supérieur

（フランス研究・高等教育評価機構）

[英：Evaluation Agency for Research and Higher Education]

**A I M S （エイムス）**

ASEAN International Mobility for Students Programme

（ASEAN 学生交流プログラム）

**A P Q N （エー ピー キュー イヌ）**

Asia-Pacific Quality Network

（アジア太平洋質保証ネットワーク）

**A S E A N （アセアン）**

Association of South-East Asian Nations

（東南アジア諸国連合）

**A S E M （アセム）**

Asia-Europe Meeting

（アジア欧州会合）

**C B Q A N （シー बी カン）**

Cross-border Quality Assurance Network

（国境を越えた教育（クロスボーダー教育）の質保証のためのネットワーク）

**C H E A （チェア）**

Council for Higher Education Accreditation

（米国高等教育ア krediteーション協議会）

**C I Q G （シー アイ キュー ジー）**

CHEA International Quality Group

（CHEA 国際質保証グループ）

**D Q R （デー クー エル）**

Deutscher Qualifikationsrahmen

（ドイツ資格枠組み）

**E C A （イー シー エー）**

European Consortium for Accreditation in higher education

（欧州高等教育ア krediteーション協会）

**E Q A R （エカー）**

European Quality Assurance Register for Higher Education

（欧州高等教育質保証機関登録簿）

**H E E A C T （ヒーアクト）**

Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan

（台湾高等教育評鑑中心基金会）

**H E E C （エイチ イー イー シー）**

Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education

（中国教育部高等教育教學評価センター）

**I E Q A S （イー カス）**

International Education Quality Assurance system

（外国人留学生受入・管理力量認証制）

**I N Q A A H E （インクアヘ / インクアヒ）**

International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education

（高等教育質保証機関の国際ネットワーク）

**M Q A （エム キュー エー）**

Malaysian Qualifications Agency

（マレーシア資格機構）

**N u f f i c （ヌフィック）**

Netherlands Organization for International Cooperation in Higher Education

（オランダ高等教育国際協力機構）

**N I C （エヌ アイ シー）**

National Information Center

（ナショナル・インフォメーション・センター）

**N V A O （エヌ ブイ エー オー）**

Nederlands-Vlaamse Accreditatieorganisatie

（オランダ・フランダースア krediteーション機構）

[英：Accreditation Organisation of the Netherlands and Flanders]

**Q A A （キュー エー エー）**

Quality Assurance Agency for Higher Education

（英国高等教育質保証機構）

**Q F （キュー エフ）**

Qualifications Framework

（資格枠組み）

**T E Q S A （テクサ）**

Tertiary Education Quality and Standards Agency

（オーストラリア高等教育質・基準機構）